

北海道議会時報

第33巻第1号

昭和55年第4回定例道議会



北海道議会事務局
北海道議会時報第33巻第1号(昭和55年第4回定例会)

(表紙写真)

真 冬 の 旭 岳

(写真提供—道生活環境部環境影響審査課
村野 紀雄氏)

……第1号もくじ……

第4回定例会

概	要	1			
本	会	議	2		
提	出	案	件	9	
意	見	案	12		
請	願	・	陳	情	16

委員会の動き

議会運営委員会	20
常任委員会	25
特別委員会	31
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

都道府県議会議員共済会	38
-------------	----

資 料

第4回定例会において議決を経た 条例の公布調	39
---------------------------	----

12月のメモ

議 会 日 誌

▶12月

- 1日(月) 農務委員会
2日(火) 議会運営委員会
3日(水) 厚生委員会
8日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別各委員会
9日(火) (第4回定例会開会)
議会運営委員会
本会議(会期決定<12日間>、提案説明)
12日(金) 議会運営委員会
本会議(代表質問<1人>)
13日(土) 議会運営、総務各委員会
本会議(代表質問<1人>)
15日(月) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>、一般質問<4人>、追加提案説明)
16日(火) 議会運営、北方領土対策特別各委員会
本会議(一般質問<4人>、意見案1件可決)

- 17日(水) 議会運営委員会
本会議(一般質問<2人>、予算及び決算特別委員会設置)
予算・決算各特別委員会(正副委員長の互選、予算第1・第2各分科会設置)、予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選)
18日(木) } 予算第1・第2各分科会(各部所
19日(金) } 管審査)
20日(土) 議会運営委員会、予算第1・第2各分科会(各部所管審査)
本会議(会期延長)
21日(日) 議会運営、各常任、公害対策特別各委員会、予算特別委員会(意見調整)、決算特別委員会
本会議(各委員長報告、修正案否決、議案等可決、収用委員会委員及び公害審査会委員選任同意、選挙管理委員及び同補充員の選挙、意見案6件可決、請願・陳情審査)

第4回定例道議会

総額 331 億円余の補正予算可決

▶ 行政改革に係る 2 条例案は継続審議 ◀

概 要

- ① 冷害対策等に関する補正予算などを審議する第4回定例会は、12月9日招集され、会期を12月20日まで12日間に決定の後、総額83億9,400万円の補正予算等37件が上程され、知事から提案説明があり、議案調査のため、12月10日から11日まで2日間休会した。
- ② 休会あけの12月13日から代表質問に入り、15日には道職員の給与改定などに係る247億5,200万円の補正予算などの議案が追加提案され、同日代表質問を終えて、一般質問に入った。16日には、「北方領土問題等の解決促進に関する要望意見案」を可決し、翌17日に一般質問を終結して直ちに31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、12月18日から12月19日まで2日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月17日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、翌18日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、20日に質疑を終結。21日には、各分科委員長報告の後、直ちに意見調整に入ったが意見の一致をみるに至らず、社会、共産両党共同による昭和55年度一般会計補正予算に対する修正案が提出され、趣旨説明の後、採決に入り、起立採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案のとおり可決した。
- ④ 本会議再開日の20日は、あらかじめ会議時間を延長し、増毛病院、酪農検査所廃止に係わる条例案の取扱いについて議会運営委員会等で意見調整が行われ、深夜に至り、会期を12月21日まで1日間延長し、21日は休日であるが議事の都合により、午前零時5分に繰り上げ、会議を開くことに決定した。
- ⑤ 会期最終日の21日（日曜日）は、昭和55年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、社会、共産及び無所属共同提出に係る昭和55年度補正予算に対する修正案の趣旨説明があって、起立採決の結果、これを否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで、収用委員会委員及び公害審査会委員選任同意案件を原案のとおり同意議決。次に選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、議長指名により選出した。

次に「国鉄地方交通線の確保に関する要望意見案」ほか5意見案を可決の後、請願審査の件について委員会決定のとおり5件を採択と決定。ついで、道立増毛病院、酪農検査所の廃止に係わる条例案及び昭和54年度各会計歳入歳出決算を閉会中継続審査と決定。ついで、閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第13号、第18号及び報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来13日目の12月21日午前4時59分閉会した。

- ⑥ 提出案件の処理状況は次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況						計
		原案可決	否 決	同意議決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	53	44	0	2	1	3	3	53
議 員	8	7	1	0	0	0	0	8
計	61	51	1	2	1	3	3	61

本 会 議

○12月9日（火） 午前10時6分開議、西尾六七議長、昭和55年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から、12月20日までの12日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号を議題とし、知事から提出議案に関する説明の後、議案調査のため12月10日から12月11日まで休会することに決定して午前10時28分散会。

○12月12日（金） 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問に入り、鈴木 誠二議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、行政改革を進めるに当たっての基本的な考え方、行政改革についての道民の理解と道議会に対する対応のあり方、増毛病院廃止案を撤回する考え、自治体病院への財政援助、医師派遣の具体策、医療基本計画における財政計画の策定と地域センター病院の財政援助の具体策、札幌医大の整備充実についての取組み姿勢
- ② 財政、経済問題に関し、明年度予算における重点政策、障害者福祉向上基金創設に対する見解、本道の経済・中小企業対策
- ③ 開発問題に関し、苫東工業基地計画における企業立地の見通し、コールセンター建設構想、サハリンからの天然ガス導入断念の経過、石油備蓄基地に係る活断層についての調査実施に対する見解、石油公園に対する指導、共同備蓄基地に係る道内企業の受注シェアの拡大策、下川鉱山の経営悪化に対する対策と放射性廃棄物の処理計画の具体的内容、国鉄地方交通線廃止計画についての対処姿勢
- ④ 農業問題に関し、農政審議会の答申の受けとめ方と本道農業の展望、第2期水田利用再

編対策に対する知事の対応姿勢、農業改良普及員の削減に係る行政管理庁の勧告に対する見解、冷害による酪農家対策、チーズの国産振興、新年度の乳価対策、畜産農家の経営対策、酪農検査所廃止案の撤回の考え方

- ⑤ 道民生活に係る諸問題に関し、年末年始の物価抑制策、プロパンガスの本州との価格差に対する受けとめ方と流通経路
- ⑥ 国際障害者年に関し、道の障害者に対する総合的な計画内容、障害児発生の予防・早期発見対策、精神障害者の社会復帰の促進策、特別生活資金制度の利用率が低い原因と助成制度に切りかえる考え
- ⑦ 防災対策に関し、旅館、ホテル等の消防用設備等の点検と防火管理体制の確立、社会福祉施設等の防火管理体制の現状
- ⑧ 教育問題に関し、青少年の非行の実態とその特徴、学習内容を理解するための条件整備、家庭内・学校内暴力の実態と原因及び対処策、自閉症児の高校の受け入れ体制、障害児教育センターの設立、温水プールの設置、スポーツ交流事業の設定と拡大、特殊教育を障害児教育と改める必要性
- ⑨ 交通事故防止対策に関し、交通事故防止対策の強化等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時38分休憩、午後2時再開、鈴木誠二議員（社会）から再質問、知事から答弁整理のため時間を要する旨発言があって、議事進行の都合より、午後2時36分休憩、午後4時46分再開し、直ちに延会。

○12月13日（土） 午後零時開議、諸般の報告の後、議長から元道議会議員山本英一氏の逝去（12月11日）について弔意を表した旨を報告。次に、

日程第1 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、知事及び教育長から、昨日の鈴木誠二議員（社会）の再質問に対する答弁の後、鈴木議員から再再質問、知事から答弁があって議事進行の都合により、午後零時48分休憩、午後2時3分再開、

寺崎 政朝議員（自民）から、

- ① 56年度の財政、経済の見通しに関し、56年度の本道の経済動向についての見通し、明年度の国の予算等における公共投資の規模と道発展計画の資金計画との関連、56年度道予算における一般事業費の確保、財政調整基金などの活用の考え方
- ② エネルギーの確保と開発の促進に関し、地域エネルギーの開発活用に係る助成制度の拡充、代替エネルギーの実用化の促進、地熱開発計画における調整機関の設置の考え方、共和・泊原発の建設促進
- ③ 事務事業の見直しに関し、明年度以降廃止予定の事業、新規事業の内容、公約達成に関連する事業についての配慮
- ④ 農業問題に関し、被害実態に応じた冷害対策の必要性、農政審議会の答申の受けとめ方と本道農業の将来展望の確立に対する決意、減反配分に対する対処策と転作定着化の方策、酪農経営の安定対策についての取組み姿勢と酪農の将来展望、チーズの国産振興策、農業試験場の整備強化、稲・小麦の品質改良に対する取組み
- ⑤ 社会福祉施設の不祥事等に関し、許認可のあり方と責任者の研修の必要性、再発防止策、岩見沢緑成園の施設入所者と物品納入業者に対する配慮、低所得者等への灯油購入資金貸付制度の充実
- ⑥ 当面する道政上の諸問題に関し、国鉄地方交通線の廃止対象線区の基準設定に向けての知事の取組み、総合交通体系の確立について国へ要請する考え、青函トンネル完成後の利用見通し、在来線運行の場合の取付け線工事等に対する要請、「北方領土の日」の早期制定について要請する考え、林産業の不況対策に対する取組み
- ⑦ 教育問題に関し、中学校及び高等学校の新教育課程の実施に係る道教委の指導と施設設備の条件整備、校内暴力事故防止についての基本姿勢、職業教育の振興策、公立学校危険校舎の改築に係る耐力度点数の特例措置の延長について国へ要請する必要性
- ⑧ 警察行政に関し、銃砲の管理、利用に対する取締り体制と強化策、保護鳥獣の密猟取締の強化等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、午後4時2分延会。

○12月15日（月） 午前10時44分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第33号ないし第46号を議題とし、知事から提案説明の後、日程第1 議案第33号ないし第46号に合わせ、

日程第2 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号を一括議題とし、代表質問を継続、

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 農業問題に関し、農政審議会の答申に対する受けとめ方と対応策、稲作転作の配分面積に対する対処策、酪農家の負債対策、牛肉需給の見通しと肉用牛生産の振興対策
- ② 中小企業対策に関し、当面の倒産防止対策、信用保証協会の保証審査方針に対する見解、代位弁済後の求償権行使に係る保証人の取扱い
- ③ エネルギー問題に関し、家庭用エネルギーの転換に対する取組み、地熱開発に係わる助成措置の充実強化、国立・国定公園内における地熱開発と環境保全に対する考え方
- ④ 医療対策に関し、行政改革に係わるビルド面の内容、道立病院の移管・廃止に伴う町への財政援助等を行う必要性、医療相談コーナーの相談状況と処理状況及び体制の充実
- ⑤ 北方領土問題に関し、「北方領土の日」制定について道内の意見を集約する必要性、国民の祝祭日とすることについての所見
- ⑥ 教育問題に関し、生徒の暴力問題の原因と生徒指導に係る教師の資質向上の具体策、中・高校生の交通事故防止に係る生徒指導のあり方、いわゆるピーマン族の実態把握と対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

橋 浪蔵議員（道政）から、

- ① 当面する諸問題に関し、中小企業への年末金融対策、営農指導の体制の強化、農業改良普及職員の指導能力の向上の必要性、国鉄地方交通線の確保についての国への要請
- ② 道発展計画に関し、産業別道内純生産の状況、今後の製造業の見通し、地場工業の振興育

- 成策と地場産業振興に係る制度の創設の考え
- ③ 医療と福祉に関し、難病センターの設置構想、国際障害者年の事業内容、心身障害者の社会復帰対策の推進
 - ④ エネルギー問題に関し、原発建設について道民のコンセンサスを得る方途、プロパンガスの輸入基地構想と価格への反映
 - ⑤ 北方領土問題に関し、北方領土についての現状認識と領土返還運動の進め方、根室地域振興計画の内容、関係市町村に対する財政対策、旧漁業権者に対する救済措置に対する所見
 - ⑥ 教育問題に関し、教員の資質の向上・指導力の向上についての施策、定時制教育の確保と適正配置計画、定通教育の教育形態に対する考え方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により午後零時39分休憩、午後2時5分再開、ついで、一般質問に入り、

佐々木 行雄議員（自民）から、

航空輸送問題に関し、本道の航空輸送の役割、第4次空港整備計画の実現見通し、臨空港型産業の導入に対する見解、鉄道と航空の機能分担の考え方、千歳空港の代替空港の位置づけと整備の必要性、巡環航空路と地方空港整備に対する所見、帯広空港のダブルトラッキングについての考え方、本道航空の一体的運用のための空港運用時間の調整、航空機の安全運航と航空路監視レーダー設置に対する取り組み等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

吉野 之雄議員（社会）から、

水田利用再編対策に関し、転作目標面積の配分に係る経過と受けとめ方、北海道農業検討会に対する評価、今回の転作目標面積の配分方法、55年度の転作実績が目標を上回ったことに対する所見、特別自主流通の実施と転作目標面積配分への影響、水稲などの品種改良と試験研究機関の充実整備等について

質問があり、知事から答弁、吉野之雄議員(社会)から再質問及び再再質問があり、知事から答弁。ついで、

吉川 貴盛議員（自民）から、

- ① テクノポリス構想に関し、テクノポリスの本道への誘致と対応策

- ② 国体選手の強化対策に関し、本道選手の競技力向上等育成強化策、道民スポーツ大会の開催に対する所見

- ③ 青少年の健全育成に関し、都市と農漁村の児童・生徒の交流学習の計画的実施に対する考え方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

神本 三也議員（社会）から、

農業問題に関し、国の農政の基本方向及び本道農業に対する国の方針に対しての見解と対応策、第4次酪農近代化基本方針の受けとめ方と乳価水準についての見解、調整食用油脂の輸入規制に係わる最近の情勢と知事の対処策、学校給食用牛乳供給事業の廃止案と対応策、酪農検査所廃止案の撤回方、本道畑作の現状認識と生産振興策、馬鈴しょ原種農場廃止方針の撤回、畑作共済制度の改善に対する取組み、農業金融の抜本的見直しに対する見解等について

質問があり、知事から答弁、神本三也議員(社会)から再質問、知事から答弁があって、午後4時49分延会。

○12月16日（火） 午前10時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第46号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 住宅問題に関し、本道の住宅の実態に対する知事の認識、北方圏交流と住宅政策への反映、省エネルギー住宅の普及、持ち家率向上のための方策、既存住宅の改修に係る防寒性能の向上策、道の持家建設資金の金利引下げについて検討方、身障者住宅整備資金制度の改善の考え方

- ② 医療行政に関し、保健医療基本計画における一次医療に対する考え方、道立病院の移管・廃止の理由、保健医療基本計画の年次別財政計画とビルド構想、道立病院の役割りと各病院の将来構想、地域センター病院の指定と道との関係及び医師確保対策・医療機器の整備、指定病院に対する運営費補助の考え、過疎法における医療確保対策

- ③ 特定不況地域の振興に関し、特定不況地域

の振興ビジョンの策定作業の進行状況、振興ビジョンを実現するための具体策及び道発展計画との関連等について

質問があり、知事から答弁、輪島幸雄議員（社会）から再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって議事進行の都合により、午前11時44分休憩、午後1時23分再開し、一般質問を継続、

米村 邦敏議員（社会）から、

- ① 林業行政に関し、発展計画における造林計画達成の見通しと今後の取組み、カラマツの間伐促進と間伐材の需要拡大策、カラマツ材集出荷センターの機能充実策
- ② 治山事業に関し、予防治山事業の積極的導入と災害の未然防止策、治山事業5カ年計画の進行状況と今後の対処策
- ③ 教育問題に関し、私立幼稚園の障害児保育に対する助成対象の拡大についての考え、義務教育における教科書無償給与制度の見直しについての状況、本道における無償給与額と国の有償化の動向に対する道教委の見解、新設高校用地の確保状況と木造危険校舎の改築計画、児童生徒の体力・運動能力の向上策、体育指導者の養成と研修に対する見解、体育館の拡充と施設の充実に対する考え方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、米村邦敏議員（社会）から再質問、知事及び教育長から答弁。ついで、

湯田 倉治議員（道政）から、

- ① 老人福祉対策に関し、老人福祉施設の建設費と実勢に合った補助基準の設定についての対処策、老人ホームの費用徴収制度の内容、老人対策推進のための機構の創設の考え
- ② 社会福祉法人岩見沢緑成園に関し、道及び岩見沢市とで再建委員会を設置する考え、道から職員を派遣することについて検討方、施設入所者への配慮と今後の対策等について

質問があり、知事から答弁、湯田倉治議員（道政）から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後3時31分休憩、午後4時27分再開、日程第1の議事を中止し、

追加日程 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決の後、日程第1の議事を継続、

熊谷 克治議員（社会）から、

- ① 情報公開に関し、情報公開の検討状況と今後の見通し、道民に対する行政に係る情報提供についての見解、段階的に情報を公開する考え、審議会等の公開、秘密文書の基準と文書管理規程の整備、電子計算機の利用とプライバシー保護に対する所見及び市町村への指導、情報公開について職員の認識の变革の必要性
- ② 教育問題に関し、幼保一元化についての検討結果と今後の取組み、道内の私立高校の納入金の実態と授業料値上げの動向、私学助成の強化に対する見解、発展計画における大学進学率の達成の可能性、国立大学の本道誘致の進め方、科学研究費の増額、継続研究及び民間の研究の積極的な採択等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、熊谷克治議員（社会）から再質問、知事から答弁があって、午後5時39分延会。

○12月17日（水） 午前10時27分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第46号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 知事の基本姿勢に関し、56年度の国の予算編成に対処する知事の基本姿勢、未着手の知事公約と明年度道予算編成における取組み
- ② 雇用問題に関し、高齢者の就労機会の確保とシルバー人材センターの増設に対する国への働きかけ、就労者の高齢化を勘案した失業対策制度の改正の必要性
- ③ 住宅対策に関し、道第3期住宅建設5カ年計画の実績と第4期計画の基本的考え方、低所得者・母子・老人・身障者に対する公営住宅の確保、居住水準に対する考え方、都市部における住宅環境の悪化と再開発による都市環境の改善の必要性、公営住宅の建てかえと居住水準の向上に対する見解
- ④ 北洋関連資料の調査保存に関し、調査についての現在までの状況
- ⑤ 教育問題に関し、国鉄地方交通線の廃止案とローカル線利用の生徒の実態及び通学費、

バス利用に変更した場合の教育的な問題点及び通学費負担増の見込み、ローカル線廃止に係る道教委の対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、柳谷正一議員（公明）から再質問、知事から答弁。ついて、

本間 喜代人議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、道立増毛病院廃止案の撤回、小児総合保健センターの整備充実の考え方、救命救急センターへの大幅助成に対する見解、灯油資金貸付制度の利用率が低いことに対する考え方と助成制度とする考え、市町村が行う福祉灯油制度を市町村振興補助の対象とすることに対する見解、共和・泊原発に係る北電の土地収用のあり方と道の指導の必要性、ソ連脅威論についての知事の認識
- ② 雇用問題に関し、積寒給付金制度の改正、企業組合に対する通年雇用数の設定に対する見解と再検討の必要性、冬期間の雇用創出、失業対策制度調査研究会の報告の受けとめ方と失対事業継続の立場で対処する考え
- ③ 農業問題に関し、農政審議会の答中に対する見解、中期農業振興計画作成を検討する考え、学校給食用牛乳の国庫補助制度廃止に対して継続を要請する必要性、無調整牛乳の供給について道費助成を行う考え、集製品工場閉鎖に対する道の指導強化、冷害による負債償還猶予措置のあり方、自作農維持資金の活用
- ④ スキー産業の振興対策に関し、振興計画の内容、道産スキーの普及促進策
- ⑤ 教育問題に関し、私学助成の拡大、私立高校生に対する奨学金貸付制度の拡充強化、生徒指導に係わる旅費の増額、学年中途の学級削減の妥当性、離島、僻地の高等学校に対する教員の加配の必要性、58年度高校新設に対する対策、自衛隊募集のための家庭訪問の中止を申し入れる考え、高校職員住宅建設に係る入札のあり方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、本間喜代人議員（共産）から、再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって、質疑並びに一般質問を終結。ついて、

工藤 啓二議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって

構成する決算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第9号、第19号及び第33号ないし第43号は予算特別委員会に、報告第2号は決算特別委員会にそれぞれ付託されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定、動議にかかわる各案件は、予算特別委員会及び決算特別委員会に付託、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任、残余の案件は、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

小山原要四蔵（社会）	木本 由孝（自民）
佐々木行雄（自民）	橋 浪蔵（道政）
久田 保（自民）	吉川 貴盛（自民）
青山 正男（自民）	長岡 寅雄（社会）
萩上 元春（社会）	工藤 啓二（公明）
柳谷 正一（公明）	川崎 守（共産）
岡本栄太郎（社会）	石崎喜太郎（自民）
川口 常人（自民）	佐々木利昭（自民）
佐藤 静雄（自民）	伊藤 豪（道政）
湯田 倉治（道政）	平野 明彦（自民）
和田 勝之（自民）	宇野 真平（自民）
小笠原 孝（自民）	工藤万砂美（自民）
武部 勤（自民）	舟山 広治（社会）
保格 博夫（社会）	中田 繁夫（社会）
湯本 芳志（社会）	東 典俊（自民）
高橋正四郎（自民）	

○決算特別委員（27人）

青山 章（自民）	桜井 外治（自民）
小田部善治（道政）	橋 浪蔵（道政）
水岡 薫（自民）	吉川 貴盛（自民）
吉野 之雄（社会）	柳谷 正一（公明）
川崎 守（共産）	輪島 幸雄（社会）
渋谷 澄夫（社会）	宇川 源吉（自民）
高木 繁光（自民）	伊藤 豪（道政）
野村 權作（自民）	古川 靖晃（自民）
和田 勝之（自民）	伊藤 知則（自民）
小笠原 孝（自民）	工藤万砂美（自民）
笹浪 幸男（自民）	保格 博夫（社会）
池島 信吉（社会）	湯本 芳志（社会）
笠島 保（社会）	田 莉子政太郎（自民）
滝沢 勉（自民）	

次に、各委員会付託議案審査のため、12月18日から12月19日まで休会することに決定して、午後零時27分散会。

○12月20日（土） 午後4時13分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時14分休憩、午後11時47分再開、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を12月21日まで1日間延長することについてはかり、異議なく決定。次に、明21日は休日であるが議事の都合により午前零時5分に繰り上げ、会議を開くことに決定して午後11時49分散会。

○12月21日（日） 午前4時21分開議、諸般の報告（議案第1号に関する修正動議の提出、藤井虎雄議員（社会）から12月17日付をもって苦東厚真火発環境影響評価に係る文書質問要求書の提出があり、同日議長はこれを承認、知事から12月20日答弁書の提出など）の後、

日程第1 議案第1号ないし第12号、第14号ないし第46号及び報告第1号を議題とし、舟山広治予算特別委員長（社会）から議案第1号ないし第9号、第19号及び第33号ないし第43号について、伊藤知則総務委員長（自民）から議案第10号ないし第12号、第17号、第22号ないし第27号、第29号、第30号、第44号、第46号及び報告第1号について、武部勤農務委員長（自民）から議案第14号について、池島信吉商工労働委員長（社会）から議案第15号について、熊谷克治文教林務委員長（社会）から議案第16号、第28号、第31号、第32号及び第45号について、伊藤豪建設副委員長（道政）から議案第20号及び第21号についてそれぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、岡本栄太郎議員（社会）から、社会、共産、無所属の共同提出に係る議案第1号に関する修正案の趣旨説明を行い、直ちに採決に入り、まず、岡本栄太郎議員ほか29人提出の修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもってこれを否決。次に、議案第1号のうち、修正案にかかわる原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に議案第1号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原

案可決。次に、

日程第1のうち議案第9号及び第29号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

日程第1のうち議案第19号及び第20号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

日程第1のうち報告第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり承認議決。次に、

日程第1のうち議案第2号ないし第8号、第10号ないし第12号、第14号ないし第17号、第21号ないし第28号、第30号ないし第46号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。ついで、

日程第2 議案第47号及び第48号を議題とし、知事から提案説明があり、委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり同意議決。ついで、

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙に入り、まず、選挙の方法についてはかり、異議なく指名推せんの方法によることに決定。次に、指名の方法についてはかり、異議なく議長指名により行うことに決定、直ちに議長から委員の指名を行い、これをはかって異議なく議長指名のとおり当選人を決定。次に、補充員の委員補充の順位についてはかり、異議なく議長指名の順位によることに決定。ついで、

日程第4 意見案第2号ないし第7号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。ついで、

日程第5 請願陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定（採択5件）のとおり決定。

次に、閉会中議案第13号、第18号及び報告第2号継続審査の件を議題とし、異議なく厚生委員長、農務委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり、

閉会中継続審査又は調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第13号、第18号及び報告第2号を除きすべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午前4時59分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案第1号ないし第9号、第19号及び第33号ないし第43号の21件について、その審査の経過と結果を御報告申し上げます。

これらの議案の審査方法等につきましては、去る12月17日の委員会におきまして協議を行い、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、18日から各部所管の審査に入り、20日をもって一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、本年の冷害に対する諸対策に要する経費のほか、道職員の給与改定等について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般、特別会計を合わせ、総額331億4,700万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に熱心な質疑応答が行われた次第であります。

なお、分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第9号及び第19号については、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、議案第1号につきましては、岡本栄太郎君外7人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、議案第9号及び第19号は、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、議案第2号ないし第8号及び第33号

ないし第43号につきましては、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますので申し添えます。

また、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 国直轄事業負担金制度については、その改善について国に強く働きかけるべきである。

また、道が施行する事業に係る地方財政法等に基づく市町村負担金については、その負担に対する財源措置の拡充に努めるべきである。

1. 特別生活資金貸付事業制度については、有効に活用されるように努めるとともに、その推移を見て充実を図るべきである。

1. 道立病院の再編整備に当たっては、新設、整備強化など、ビルド面についての具体的計画をできるだけ早く明確にするよう努めるべきである。

1. 新しい生乳検査体制の整備に当たっては、業務運営体制の充実を図り、酪農家の生乳取引に支障を来さないように努めるべきである。

1. 現下の中小企業の経営の現状にかんがみ、企業倒産及び関連倒産の防止を図るため、さらに積極的な施策を講ずるべきである。

との付帯意見を付されたいとの動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもって、これを決定いたしました次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 9	1	昭和55年度北海道一般会計補正予算（第6号）	予算特別	12. 21	原案可決
同	2	昭和55年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	3	昭和55年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	4	昭和55年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	昭和55年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和55年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	昭和55年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	8	昭和55年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	9	昭和55年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	10	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	11	北海道恩給並びに他の都府県の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	13	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	継続審査
同	14	公団営農用地開発事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案	農 務	同	原案可決
同	15	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	16	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	17	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	18	北海道原料乳検査条例を廃止する条例案	農 務	同	継続審査
同	19	社団法人北海道生乳検査協会（仮称）に対する出資の件	予算特別	同	原案可決
同	20	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	21	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	同	同	同
同	22	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備建築工事）に関する件	総 務	同	同
同	23	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備衛生設備工事）に関する件	同	同	同
同	24	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備電気設備工事）に関する件	同	同	同
同	25	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備冷暖房設備工事）に関する件	同	同	同
同	26	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備空調換気設備工事）に関する件	同	同	同
同	27	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院整備受変電設備工事）に関する件	同	同	同
同	28	財産の取得（北海道芽室高等学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
同	29	財産の取得（苫小牧東部工業基地用地）に関する件	総 務	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 9	30	財産の処分（学校用地、旭川市西神楽4線5号3番3610ほか1筆）に関する件	総務	12. 21	原案可決
同	31	損害賠償の額の決定に関する件	文教林務	同	同
同	32	同	同	同	同
12. 15	33	昭和55年度北海道一般会計補正予算（第7号）	予算特別	同	同
同	34	昭和55年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（3号）	同	同	同
同	35	昭和55年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	36	昭和55年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	37	昭和55年度北海道病院事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	38	昭和55年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	39	昭和55年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	40	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	41	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	42	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	43	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	44	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	45	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	46	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
12. 21	47	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	48	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 9	1	専決処分報告につき承認を求める件（訴えの提起に関する件、11月28日専決処分）	総務	12. 21	承認議決
同	2	昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	同	継続審査
同	3	昭和54年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			報告のみ
同	4	昭和54年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	5	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定 11月17日2件、11月19日2件、11月21日2件、12月2日1件専決処分）			同

第4回定例会において議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 16	1	北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書	田邨子政太郎君ほか12人	12. 16	原案可決
12. 21	2	国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書	伊藤知則君ほか13人	12. 21	同
同	3	精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見書	宇野真平君ほか12人	同	同
同	4	学校給食用牛乳の補助継続に関する要望意見書	神本三也君ほか25人	同	同
同	5	公立学校危険建物耐力度点数1,000点引き上げ緩和措置の継続に関する要望意見書	熊谷克治君ほか12人	同	同
同	6	義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書	同	同	同
同	7	年金受給者に対する冬期加算制度の創設に関する要望意見書	宇野真平君ほか12人	同	同

修正動議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 21	議案第1号 昭和55年度北海道一般会計補正予算（第6号）に対する修正動議	岡本栄太郎君 ほか29人	12. 21	否決

意見案

意見案第1号

(田刈子政太郎君ほか12人提出)
12月16日 原案可決

北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書

北海道議会は、これまで北方領土問題解決促進に関する要望をしばしば行ってきたところであるが、いまなお返還が実現せず、ソ連が北方領土において新たな軍事力を配備し、増強を続けていることは、日ソ両国の平和友好関係の促進のために誠に遺憾なことである。

歯舞群島、色丹島及び国後島、択捉島等の北方領土の早期返還の実現は国民の総意であり、要求である。

北方領土問題解決促進については、さきの臨時国会（昭和55年11月28日）の衆参両院において決議されたが、政府は、北方領土についての全国的な関心と理解をより一層深めるため、全国的な啓発活動を推進する諸行事等の設定などの検討を行い、北方地域旧漁業権者等及び北方領土元居住者等に対する救済援護措置の拡充はもとより、北方領土隣接地域の振興のための強力、かつ適切な措置を早急に講じつつ、北方領土におけるソ連の軍事的措置を撤回するよう重ねてソ連政府に要求するとともに、北方領土の早期返還を図り、平和条約を締結して日ソ間の安定的平和友好関係を確立するよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
総理府総務長官 }

意見案第2号

(伊藤知則君ほか13人提出)
12月21日 原案可決

国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書

本道は、広大な土地や豊富な資源に恵まれ、わが国において最も発展の可能性に富んだ地域であり、今後、開発の進展に伴って輸送需要の増加が見込まれるなど、公共輸送の基幹をなす国鉄の果たす役割りは将来とも大きく、その整備強化が必要とされている。

しかし、「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」の成立に伴い、輸送需要の少ない国鉄地方交通線はバス輸送等に転換されることになるが、鉄道網の過半を地方交通線で占め、面積が広く、積雪寒冷という地理的、自然的条件にある本道の実態から、道内諸地域の住民生活や産業経済活動に大きな影響を与えるとともに、地方に過大な負担を強いることになるので、地域の実態に十分配慮する必要がある。

よって、政府においては、今後、地方交通線の選定基準などを内容とする国鉄再建法を実施する政令の制定に当たっては、次に掲げる本道の実態を十分認識の上、本道の地方交通線を確保する内容とされるよう強く要望する。

記

1. 本道は、北海道開発法に基づき、国の総合開発計画によって開発が進められている重要な地域である。

2. 本道は、面積が広く、積雪寒冷な自然条件にあって、全道をネットワークする鉄道網が形成されており、本道開発に果たす国鉄の役割りは将来とも大きい。
3. 本道は、豊富な資源に恵まれ、わが国において最も発展の可能性に富んだ地域であり、今後、開発の進展に伴って大幅な輸送需要の増加が見込まれる。
4. 道内にある14支庁の区域が、いずれも県に匹敵する面積を有している本道の地方交通線は、地域間を結ぶ路線、地域の長大路線、港湾と内陸を結ぶ路線、地域を循環する路線、石炭を輸送する路線、地域の重要物資を輸送する路線など、いずれも地域の生活、産業経済に重要な役割りを果たしている。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣 } 各通
自治大臣、北海道開発庁長官 }

意見案第3号

(宇野真平君ほか12人提出)
12月21日 原案可決

精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見書

今日の精神障害者対策は、精神衛生法による医療と保護を中心とした施策があるのみで、精神障害者とその家族の立場に立っての福祉対策は、ほとんど講ぜられていない状況にある。

最近の精神障害者対策の現状は、従来の入院医療主義から通院治療、社会復帰の方向へ変貌しつつあり、また、社会復帰対策については、何らの法律的な規定がないため、強力な施策の推進ができず、これら精神障害者と家族の抱えている悩みは深刻なものがあり、現行の精神衛生行政の枠の中だけでは、とうてい解決することのできない極めて緊急の課題となっている。

したがって、これら精神障害者の社会生活を円滑に営むための指導、援助及び自立することの著しく困難な者に対する福祉対策は、現下、焦眉の急となっている。

よって政府においては、かかる実情を十分賢察され、これらの施策が強力に推進できるよう「精神障害者福祉法」（仮称）を早急に制定され、精神障害者の福祉に万全を期せられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

意見案第4号

(神本三也君ほか25人提出)
12月21日 原案可決

学校給食用牛乳の補助継続に関する要望意見書

昭和32年、学校給食用牛乳供給事業が制度化されて以来、本事業は、児童生徒の体位向上

に多大の貢献をしてきており、その供給量も年々増大し、現在、飲用仕向け乳量の15パーセントを占めるに至っている。

さらに、学校給食による牛乳飲用の定着化と需要の増大は、国民の体位向上と酪農・乳業及び関連産業の発展に大きく寄与してきたところである。

昭和56年度から本事業補助金の交付を打ち切ると伝えられているが、仮に本事業が廃止されると児童生徒の体位向上にも影響を与えるとともに、父兄負担の増大となり、ひいては、わが国酪農の安定的な発展を阻害することになると思料されるので、本事業について、引き続き実施されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、農林水産大臣 }

意見案第5号

(熊谷克治君ほか12人提出)
12月21日 原案可決

公立学校危険建物耐力度点数1,000点引き上げ緩和措置の 継続に関する要望意見書

国は、公立学校木造危険建物耐力度点数を昭和52年度補正予算以来1,000点引き上げの緩和措置を講じており、これにより本道における公立学校の不燃化改築が促進され、この緩和措置の効果は極めて大きなものがある。

この緩和措置が廃止されることになれば、本道地方自治体における今後の文教施設の計画的整備に与える影響は極めて大きいので、この措置を継続するよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣 各通

意見案第6号

(熊谷克治君ほか12人提出)
12月21日 原案可決

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書 無償給与制度の存続に関する要望意見書

義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度は、日本国憲法第26条に掲げる義務教育無償の理想を実現する施策として、学校教育法において使用が義務づけられている教科用図書を無償給与し、教育費の父母負担の軽減を図ることを目的とした制度である。

この制度は、昭和38年度実施以来、今日まで10数年を経て国民の間に深く定着しており、父母の家計費に占める教育費の増加等の現状からも現行制度を改廃することなく存続するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣 各通

意見案第7号

(宇野真平君ほか12人提出)
12月21日 原案可決

年金受給者に対する冬期加算制度の創設に関する要望意見書

わが国の年金制度は、逐次、その改善が図られてきたところであるが、現行の給付内容は、最近の国民生活水準と対比し、依然として低く、また、近時の物価高騰によって年金受給者の生活は圧迫を余儀なくされ、ますます苦しい状況にある。

特に、積雪寒冷地に居住する年金受給者にとって、近時の暖房用燃料費の高騰は、ますます生活不安を増大させていることは、まことに憂慮にたえないところである。

よって、政府においては、老齢保障の観点から、暮らせる年金の確立に努力するとともに、積雪寒冷という本道の特殊事情を十分勘案され、冬期加算制度を創設するよう特段の措置を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣、自治大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
101	各種年金受給者に対する寒冷地手当（燃料手当）支給の制度化に関する件	北海道高齢者退職者の会連合会 会長 下田 善八	厚生	採 択
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	北海道私立学校教職員組合 執行委員長 泉 修	文教林務	継続審査
103	留萌南部地区（留萌市・増毛町・小平町）高等学校普通科間口増設に関する件	留萌市長 原田栄一ほか8人	同	同
104	北海道酪農検査所の廃止反対に関する件	自治労全北海道庁労働組合 中央執行委員長 北村 英人	農 務	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	帯広北高等学校PTA 会長 海野 利雄	文教林務	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	北海道教育大学札幌分校学生 自治会 執行委員長 渋谷 明範	同	同

陳 情

文書表 番号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
60	精神障害者の社会復帰に関する件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤 重行	厚生	継続審査
61	道委託事業の直接契約に関する件	社団法人北海道視力障害者福祉連合会 会長 鈴萩一郎ほか1人	同	同
62	すすきの地区における環境浄化に関する件	北海道観光社交事業協会 札幌支部長斎藤鶴雄ほか6人	総 務	同
63	同	札幌市中央区南9条西4丁目10番地 豊水地区町内会 代表 数井三郎ほか15人	同	同

② 継続審査中のものであって、第4回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番号	件 名	付託委員会	審 査 の 結 果
77	水田転作面積一律均等配付分の実施及び転作定着阻止に関する件	農 務	採 択
19	養護学校高等部間口増に関する件	文教林務	同
29	養護学校高等部早期開校の件	同	同

陳 情

文書表 番号	件 名	付託委員会	審 査 の 結 果
58	家庭用灯油の価格抑制及び安定供給に関する件	総 務	採 択

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	同
24	登別市に警察署設置の件	同
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	同
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	同
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
45	北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同
49	保育所幼児（3～5歳）に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
52	道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
56	道立増毛病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美瑛市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
71	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同
95	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同
1	苫小牧市錦岡団地（道営住宅）の下水道整備に関する件	建 設
38	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設
70	道道上風連中西別線の舗装促進に関する件	同
73	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	同
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
21	道立普通高校建設に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
43	全日制普通課程公立高等学校新設に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策特別

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	同
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
29	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同
59	砂利採取法違反に係る処分に関する件	商工労働
29	道立中央農業試験場江別乙りんど試験地存続の件	農 務
31	根室馬鈴しょ原種農場存続の件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	同
13	同	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
55	道営住宅家賃の値上げに関する件	同
56	道営住宅家賃の値上げに関する件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○12月2日（火） 午後1時2分、議会運営委員会室において開議、午後1時6分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 第4回定例会の招集期日を12月9日とすることを了承。会期は、12日間とすることに決定。
- ② 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに異議なく決定。

▽ 第4回定例会日程

12月9日	本会議（提案説明）
10日・11日	休会
12日	本会議（代表質問）
13日	同（代表質問、一般質問）
14日	休会
15日	本会議（一般質問）
16日	同（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
17日～19日	休会
20日	本会議

- ④ 代表質問について、順位は社会、自民、公明、道政の順とし、通告は12月10日正午までとすることに決定。
- ⑤ 一般質問について、順位は従来例により取り進めることとし、通告は12月11日正午までとすることに決定。

○12月8日（月） 午後1時17分、議会運営委員会室において開議、午後1時25分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 議案調査のため12月10日から11日まで休会

することに決定。

- ③ 予算及び決算特別委員会について、予算特別委員会の構成は、31人（自民17人、社会8人、道政3人、公明2人、共産1人）、委員長・第1分科委員長及び第2分科副委員長は社会、副委員長・第2分科委員長及び第1分科副委員長は自民とすること、決算特別委員会の構成は、27人（自民15人、社会7人、道政3人、公明1人、共産1人）、委員長は自民、副委員長は社会とすることに決定。両特別委員名簿の提出は、12月13日正午までとすること、設置動議は公明とすることに決定。
- ④ 議長から、北海道選挙管理委員及び同補充員の選挙について発言の後、本件の取扱いについて後日協議することを了承。
- ⑤ 中央折衝のため、農務委員4人の上京について了承。
- ⑥ 総務部長から、寺田副知事及び農務部長の明日の本会議欠席について申し出があり、異議なく了承。

○12月9日（火） 午前9時32分、議会運営委員会室において開議、午前9時35分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

- | | |
|------|--|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指定
諸般の報告 |
| 日程第2 | 会期決定の件（12月9日から12月20日まで12日間） |
| 日程第3 | 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号
提出議案に関する知事の説明
議案調査のための休会日の決定
（12月10日から12月11日まで） |

○12月12日（金） 午前9時33分、議会運営委員会室において開議、午後4時40分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 代表質問の通告（4人）について報告、本

日は2人行うことに決定。

- ② 一般質問の通告(12人)について報告の後、順位の変更申し出について了承。順位については従来の例によることとし、議事課長から説明のとおり決定。進め方について、13日2人、15日5人、16日5人とすることに異議なく決定。

- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時38分休憩、午後4時40分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ④ 総務部長から、休憩前の本会議における鈴木誠二議員(社会)の代表質問の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、委員長から、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。

○12月13日(土) 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午前11時50分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における鈴木誠二議員(社会)の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨の発言があって午前9時35分休憩、午前11時45分再開。総務部長から答弁準備の状況について説明の後、委員長から本日の本会議は、知事の答弁から入ることをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、元道議会議員山本英一氏(旭川市選出、第13期・第15期)の逝去(12月11日)について報告。

- ③ 総務部長から、追加提出予定案件について説明。

- ④ 一般質問の通告内容の変更について了承。

- ⑤ 本日の本会議について、代表質問4人、一般質問2人の計6人であるが、進行状況により協議の上、取り進めることを了承。

- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取

り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

(元議員の逝去報告)

日程第1 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問(代表質問4人、一般質問2人)

○12月15日(月) 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午前9時48分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、追加提出議案について説明の後、委員長から本件について、本日の本会議において知事の提案説明を行うことをはかり、異議なく決定。

- ② 一般質問の通告内容の変更について了承。

- ③ 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問7人の計9人であるが、進行状況により協議の上、取り進めることを了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第33号ないし第46号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第1の議案第33号ないし第46号にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問(代表質問2人、一般質問7人)

○12月16日(火) 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時17分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 一般質問の通告の取下げ及び変更について、各委員から申し出のとおり了承。

- ② 委員長から、一般質問について本日で終了するよう協力願いたい旨発言。

- ③ 予算及び決算特別委員会について、予算特

別委員会各派別分科委員の配分結果を報告の後、両特別委員の選任については配付名簿のとおり選任すること、設置動議は工藤啓二議員（公明）に提出願うことに異議なく決定。

- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 委員長から、本日の一般質問が終了した場合、各委員会付託議案審査のため、12月17日から19日まで休会し、12月20日再開することをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時46分休憩、午後4時14分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第46号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問（8人）

- ⑦ 意見案第1号の取扱いについて、再開後の本会議において追加日程として上程し、議決する扱いとすることに決定。
- ⑧ 本日の本会議の進め方について、一般質問3人のうち本日1人行い、明日2人行うことに異議なく決定。
- ⑨ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 再開後の議事順序

（諸般の報告）

◎日程第1の議事を中止し追加する議事
追加日程 意見案第1号
意見案第1号 北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書
（説明及び委員会付託省略）
（採決）

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

◎日程第1の議事継続
一般質問の継続

○12月17日（水） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午前9時43分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 本日の本会議について、一般質問は、2人

行い終了し、予算及び決算特別委員会の設置並びに議案の各委員会付託については、昨日の委員会決定のとおり取り進めることを了承。

- ② 各委員会付託議案審査のため、12月18日から19日まで休会し、12月20日再開することに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第46号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問（2人）
（質疑終結宣告）

- 予算及び決算特別委員会設置
- 予算及び決算特別委員の選任
- 議案の各委員会付託
各委員会付託議案審査のため休会の決定
（12月18日から12月19日まで）

- ④ 道路整備促進緊急全国大会出席のため、建設委員2人の上京について了承。

○12月20日（土） 午後4時5分、議会運営委員会室において開議、午後11時45分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 予算特別委員長から付託議案の審議状況について、委員長から各常任委員会付託議案の審議状況について、報告の後、時間延長の本会議を開くことをはかり、異議なく決定。
午後4時6分休憩、午後11時38分再開。
- ② 委員長から、正副議長協議により酪農検査所廃止条例に係る取扱い等について要請があった旨報告の後、各委員、副議長及び委員長から発言があって、会期延長を議決し、明日午前零時5分開議とすることをはかり、異議なく決定。

○12月21日（日） 午前1時35分、議会運営委員会室において開議、午前4時8分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 昨日の委員会において保留となった正副議長要請の取扱いについて、石山直行委員（自民）及び橋浪蔵委員（道政）から所属会派の検討結果をそれぞれ報告の後、正副議長の要請のとおり取り進めることをはかり、異議なく決定。
- ② 副議長から、予算特別委員会の知事総括質疑について社会党及び共産党に対し、審議の促進方協力願いたい旨発言があって、両党了承。午前1時39分休憩、午後4時再開。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況並びに厚生委員会付託の議案第13号（北海道病院事業条例の一部を改正する条例案）、農務委員会付託の議案第18号（北海道原料乳検査条例を廃止する条例案）、決算特別委員会付託の報告第2号（昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）について、それぞれ本日の委員会において継続審査とすることに決定した旨報告。
- ④ 岡本栄太郎議員（社会）ほか29人提出の議案第1号に対する修正案の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑤ 総務部長から、追加提出議案について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 道選挙管理委員及び同補充員の選挙について、選挙すべき委員数は各4人、選挙の方法は指名推せんによることとし、議長において配付の名簿のとおり指名すること、補充員の補充の順位は配付名簿の指名順位によることに決定。
- ⑦ 意見案第2号ないし第7号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑧ 委員長から、藤井虎雄議員（社会）から12月17日付けをもって文書質問承認要求書の提出があり、同日議長が承認、12月20日知事から答弁書の提出があった旨報告の後、配付の質問趣意書及び答弁書の写を本日の本会議において配付し、報告する扱いとすることをはかり、異議なく了承。
- ⑨ 本日の本会議の議事は、次の順序により取進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

- 日程第1 議案第1号ないし第12号、第14号ないし第17号、第19号ないし第46号及び報告第1号
 予算特別、総務、農務、商工労働、文教林務各委員長及び建設副委員長の報告
 岡本栄太郎議員の議案第1号の修正案に関する説明

（採決）

- 1 岡本栄太郎議員ほか29人提出の議案第1号に関する修正案を問題とし、起立により採決
 （自民、道政、公明反対）
- 2 議案第1号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決
 （社会、共産、無所属反対）
- 3 議案第1号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決
 （共産反対）
- 4 議案第9号及び第29号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立により採決
 （社会、公明、共産、無所属反対）
- 5 議案第19号及び第20号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立により採決
 （社会、共産、無所属反対）
- 6 報告第1号を問題とし、委員長報告（承認議決）のとおり決することについて起立により採決
 （共産反対）
- 7 議案第2号ないし第8号、第10号ないし第12号、第14号ないし第17号、第21号ないし第28号及び第30号ないし第46号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決

- 日程第2 議案第47号及び第48号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

議案第47号 北海道収用委員会
委員の選任につき同意を求める件
議案第48号 北海道公害審査会
委員の選任につき同意を求める件

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙すべき選挙管理委員 4人
選挙すべき選挙管理委員補充員 4人

- 1 選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決
- 2 指名の方法は議長において指名することについて簡易採決

議長より選挙管理委員、同補充員を指名

- 3 議長指名のとおり当選人とすることについて簡易採決
- 4 補充員の委員補充順位を指名の順位のとおりとすることについて簡易採決

日程第4 意見案第2号ないし第7号

意見案第2号 国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書

意見案第3号 精神障害者福祉法(仮称)の制定に関する要望意見書

意見案第4号 学校給食用牛乳の補助継続に関する要望意見書

意見案第5号 公立学校危険建物耐力度点数1,000点引き上げ緩和措置の継続に関する要望意見書

意見案第6号 義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書

意見案第7号 年給受給者に対する冬期加算制度の創設に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 請願陳情審査の件(採択5件)

(委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件を請願陳情審査報告書(いずれも採択)のとおり決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

厚生委員長から議案第13号について農務委員長から議案第18号について決算特別委員長から報告第2号について、それぞれ申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

- ⑨ 事務局長から、本会議配付資料の一部訂正について申し出があり、異議なく了承。

常任委員会

総務委員会

○12月8日（月） 午前11時2分、第5委員会室
において開議、午後零時16分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外調査及び国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 総務部長から、外務公務員の派遣要請及び初回出張時に行った用務内容に関する報告の後、
小田原要四蔵委員（社会）から待命大使に発令された時期と道の要請した時期との関連、派遣期間及び具体的業務に関する今後の道の考え、道議会議員から大使との懇談等を要請した場合の道の対応について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。
- ④ 総務部長から、土地明け渡し等請求事件に係る処理経過と内容について報告。
- ⑤ 開発調整部次長から、昭和55年国勢調査結果（概数）の概要について報告。
- ⑥ 開発調整部次長から、国鉄地方交通線に関する現在までの状況等について報告の後、
小田原要四蔵委員（社会）から、政令制定に対処する道の基本的方針、各線区ごとの存続期成会等に対する道の指導方法、加盟団体等の実態把握、国鉄による貨物輸送の実態調査及び利用面における今後の対応について
質疑、意見及び要望があり、開発調整部次長から答弁。
- ⑦ 委員長から歳末取締状況の視察の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑧ 小田原要四蔵委員（社会）から、税務出張所の統廃合に関し、その後の経過、関係町村

への職員派遣等の実態及び派遣増加の要望があった場合の道の対応について
質疑があり、総務部長から答弁。

○12月13日（土） 午後4時6分、第5委員会室
において開議、午後4時10分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一般議事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出案件について説明。

○12月21日（日） 午前3時2分、第5委員会室
において開議、午前3時19分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道恩給条例等の一部を改正する条例案）、議案第11号（北海道恩給並びに他の都府県の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退隠料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案）、議案第12号（北海道税条例の一部を改正する条例案）、議案第17号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）、議案第22号ないし議案第27号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）、議案第30号（財産の処分に関する件）、議案第44号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第46号（北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長及び警察本部警務部長から、それぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第29号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 報告第1号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、警察本部警務部長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決す

ることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請題、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、国鉄地方交通線の確保に関する要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和56年度国費予算及び国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

厚生委員会

○12月3日（水） 午前10時33分、第9委員会室
において開議、午後2時50分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

一 般 議 事

- ① 民生部長から、社会福祉法人厚真福祉会及び岩見沢緑成園のその後の経過について報告。
- ② 衛生部長から、医療相談の実施状況について報告。
- ③ 輪島幸雄委員（社会）から、道立病院の移管問題に関し、現在の赤字額と国・道の補助、内部努力の内容と医療・労働条件のレベルダウンの危惧、医師の確保に対する見通しと道の責任、道と町村における医師の待遇、移管後の経営に対する道の援助、病床・診療科目の増設等地域医療の充実に対する考え方
（関連して、山家勇委員（社会）から、移管後の赤字に対する道の援助と他の町村立病院の赤字に対する考え、砂原清治委員（社会）から、移管対象病院の移管財務精算時における減価償却の扱いについて）
保格博夫委員（社会）から、増毛町における道立病院の廃止と町立診療所の新設にかか

る問題に関し、資金補助要請の内容と道の対応、全額補助の妥当性、町及び道における議会審議のかかわり合い、40床体制の具体的計画、診療科目の増設と医師確保の見通し、道立病院の廃止と地域医療、採算性と地域医療、留萌地区におけるビルド計画、無医地区の解消計画等について

質疑及び意見があり、衛生部長及び道立病院管理室長から答弁。

- ④ 保格博夫委員（社会）から、(1)もなみ学園に関し、計画されている自閉症児施設の種類と定員、(2)内部障害者更生指導所の美唄移転統合問題に関し、通所制度の存続と札幌市の意向、(3)福祉灯油に関し、福祉灯油の概念、特別生活資金貸付制度の実施理由、市町村が実施している福祉灯油事業に対する道費補助の考えについて

（関連して、山家勇委員（社会）から、福祉灯油の実施方、特別生活資金貸付制度を実施する方向で検討するに至った理由について）
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○12月8日（月） 午後1時55分、第9委員会室
において開議、午後2時37分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外調査及び昭和55年度沖縄戦没者慰霊祭参加の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 保格博夫委員（社会）から、社会福祉法人岩見沢緑成園及び医療法人岩見沢緑仁会の負債整理に関し、取引業者に対する債務の状況、支払の方法、業者の理解度及び制度資金等の融資について道の取り組み方
桜井外治委員（自民）から、社会福祉法人厚真福祉会の債務状況について
質疑があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

- 12月21日（日） 午前2時58分、第9委員会室
において開議、午前3時2分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

付託案件の審査

- 議案第13号（北海道病院事業条例の一部を
改正する条例案）を議題とし、閉会中継続審
査の申し出をすることをはかり、異議なく決
定。

請願、陳情の審査

請 願

第101号 各種年金受給者に対する寒冷地
手当（燃料手当）支給の制度化
に関する件 （採択）

残余の請願、陳情については、今後付託さ
れるものも含め、閉会中継続審査とすること
をはかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継
続調査の申し出をすることをはかり、異議な
く決定。
- ② 委員長から、精神障害者福祉法（仮称）の
制定に関する要望意見案及び年金受給者に対
する冬期加算制度の創設に関する要望意見案
について、配付の案文により発議することを
はかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和56年度国費予算及び年金
受給者に対する冬期加算制度の創設に関する
中央折衝の実施についてはかり、異議なく決
定。実施時期、派遣委員等については、委員
長に一任することとした。

商 工 労 働 委 員 会

- 12月8日（月） 午後2時7分、第8委員会室
において開議、午後2時24分
散会
委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した道外及び道内
における商工労働事情調査の概要について報
告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、

第4回定例会提出予定案件について説明。

- ③ 榎林巖委員（社会）から、プロパンガス第
1次輸入基地の誘致に関する新聞報道に関
し、議会に対する姿勢とこれまでの経緯等
について
質疑があり、商工観光部長から答弁。

- 12月21日（日） 午前2時57分、第8委員会室
において開議、午前3時散会
委員長 池島 信吉（社会）

付託案件の審査

- 議案第15号（北海道立職業訓練校条例の一
部を改正する条例案）を議題とし、労働部長
から説明の後、異議なく原案のとおり可決す
ることに決定。付託案件に対する委員長報告
については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和56年度開発予算に関する
中央折衝の実施についてはかり、異議なく決
定。実施時期、派遣委員等については、委員
長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるものも含め、閉会中継続審
査の申し出をすること及び所管事務について、
閉会中継続調査の申し出をすることをはか
り、異議なく決定。

農 務 委 員 会

- 12月1日（月） 午前11時2分、第7委員会室
において開議、午後3時25分
散会
委員長 武部 勤（自民）

請願、陳情の審査

請 願

第77号 水田転作面積一律均等配分の実施
及び転作定着阻止に関する件
(採択)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した第2期水田利
用再編対策に関する中央折衝の概要について
報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、第2期水田利用再編対策に

ついて説明。

- ③ 農務部長から、豚コレラ発生状況等について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、伝染経路不明の理由、生ワクチンの備蓄状況

湯田倉治委員（道政）から、感染豚の廃棄方法

神本三也委員（社会）から、共済加入状況、養豚農家に対する対策と指導

工藤啓二委員（公明）から、廃棄処分の方法と衛生法との関係、運搬中における問題点について

質疑及び意見があり、農務部長及び家畜衛生監から答弁。

- ④ 委員長から、さきの委員会において岡本栄太郎委員（社会）から要求のあった北海道酪農検査所及び馬鈴しよ原種農場に係る資料の提出がされている旨報告があって、農務部長から資料内容について説明の後、

神本三也委員（社会）から、(1)酪農検査所の廃止に関し、検討委員会の構成委員の妥当性、各市町村議会における反対決議の受けとめ方、新検査機関に道が参加する理由、酪農情勢と検査の格付との関係、試験業務の見通しと条例廃止の関係、明確な資料の提出方、(2)馬鈴しよ原種農場に関し、関係市町村から提出された要望書の内容と写しの提出方

岡本栄太郎委員（社会）から、(1)検討委員会の委員と関係団体との拘束性、委員会における論議内容と経過について会議ごとの会議内容資料の提出方、(2)酪農検査廃止による道及び生産者のメリットについて

（関連して、湯田倉治委員（道政）から、酪農検査廃止によるメリットの明確化について）

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ⑤ 神本三也委員（社会）から、農業改良普及員等に関する行政管理庁の報告に対する見解について
質疑があり、農務部長から答弁。

○12月8日（月） 午前11時2分、第7委員会室において開議、午前11時20分散会

一般議事

- ① 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 委員長から、さきの委員会において岡本栄太郎委員（社会）から要求のあった北海道酪農検査所及び馬鈴しよ原種農場に関する資料の提出があった旨を報告。

③ 岡本栄太郎委員（社会）から、第2期水田利用再編対策に関し、現在における情勢分析と道の取り組み方について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○12月21日（日） 午前3時8分、第7委員会室において開議、午前3時14分散会

委員長 武部 勤（自民）

付託案件の審査

① 議案第14号（公団管農用地開発事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案）を議題とし、説明を省略のうえ異議なく原案のとおり可決することに決定。

② 議案第18号（北海道原料乳検査条例を廃止する条例案）を議題とし、本件については継続審査とすることをはかり、異議なく了承。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり異議なく決定。

② 委員長から、学校給食用牛乳の補助継続に関する要望意見案（文教林務委員会と共同）を配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、昭和56年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。

④ 委員長から、さきに実施した道外調査及び第2期水田利用再編対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了

承。

- ⑤ 委員長から、第2期水田利用再編対策に関する資料について、配付のとおり提出があった旨報告。

建設委員会

○12月8日（月） 午後1時52分、第4委員会室
において開議、午後2時6分
散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
② 住宅都市部長から、寒地建築研究所職員の不祥事に係る関係職員の処分状況について報告。

本日聴取した陳情

集中豪雨に対する今後の対策について
白老町議会災害対策特別委員会副委員長

○12月21日（日） 午前2時55分、第4委員会室
において開議、午前3時18分
散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第20号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から資明の後、
萩上元春委員（社会）から、函館湾流域下水道における工場排水の水質規制と監視対策、窒素・リンの除去方式、流域下水道設置費用の一部を関係市町村に負担させる理由、下水道法第31条の2の解釈、函館市の都市計画審議会の附帯意見に対する見解等について質疑があり、住宅都市部長から答弁があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
② 議案第21号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告

については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
② 委員長から、昭和56年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
③ 住宅都市部長から、北海道公営住宅家賃変更に関する北海道住宅対策審議会の審議経過及び答申の概要について報告。

農地開発委員会

○12月8日（月） 午前10時26分、第3委員会室
において開議、午前10時32分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した府県における農業基盤整備事業の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
② 委員長から、さきを実施した昭和56年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
③ 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月21日（日） 午前2時57分、第3委員会室
において開議、午前2時59分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 委員長から、昭和56年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議な

く決定。

水産委員会

○12月8日(月) 午後1時50分、第6委員会室
において開議、午後2時13分
散会
委員長 小笠原 孝(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、日ソ漁業交渉の結果について報告。
- ③ 水産部長から、秋さけ親魚の捕獲状況について報告。

○12月21日(日) 午前2時58分、第6委員会室
において開議、午前3時散会
委員長 小笠原 孝(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、昭和56年度水産関係国費予算要望事項について説明。
- ② 委員長から、昭和56年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

文教林務委員会

○12月8日(月) 午後1時49分、第10委員会室
において開議、午後2時散会
委員長 熊谷 克治(社会)

請願、陳情の審査

請願

- 第19号 養護学校高等部間口増に関する件
(採択)
- 第29号 養護学校高等部早期開校の件
(採択)

一般議事

- 教育長、林務部長及び学事課長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

道立高等学校設置について

白老高校設置特別委員会委員長

○12月21日(日) 午前2時56分、第10委員会室
において開議、午前3時5分
散会
委員長 熊谷 克治(社会)

付託案件の審査

- 議案第16号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)、議案第28号(財産の取得に関する件)、議案第31号及び第32号(損害賠償の額の決定に関する件)、議案第45号(北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見案、公立学校危険建物耐力度点数1,000点引き上げ緩和措置の継続に関する要望意見案及び学校給食用牛乳の補助継続に関する要望意見案(農務委員会と共同)について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり異議なく決定。
- ③ 委員長から、昭和56年度国費関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一件することとした。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○12月8日（月） 午後2時30分、第1委員会室
において開議、午後2時43分
散会

委員長 作田 政次（自民）

- ① 開発調整部次長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 開発調整部次長から、昭和55年国勢調査結果について報告。

石炭対策特別委員会

○12月8日（月） 午後2時57分、第11委員会室
において開議、午後3時50分
散会

委員長 工藤万砂美（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した本道産炭地域に係る国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、北炭夕張新鉱の災害復旧と再建計画、産炭地域の振興対策及び国鉄地方交通線の確保について報告の後、
石川十四夫委員（道政）から、北炭の再建問題に関し、石鉱審小委員会における論議の内容及び再建方針の年内結論に向けて国への働きかけ等
湯田倉治委員（道政）から、北炭の再建問題に関し、関連企業における資金援助の拡大と関係機関への要請方、北炭3山の独立に対する経営指導、出炭計画の見通し、専門家による技術指導の必要性及び露天堀による出炭調整等
山家勇委員（社会）から、(1)北炭従業員の安心して働ける体制の早期確立方、(2)産炭法の延長問題に関し、審議会の答申内容と道の対応及び具体策
宇川源吉委員（自民）から、産炭法の具体的答申内容と旧炭鉱所有地の跡地対策等につ

いて

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁の後、

石川十四夫委員（道政）から、産炭法の延長に係わる産炭地振興に対する道の全庁的対応方について要望があり、委員長から理事会において協議する旨応答。

北方領土対策特別委員会

○12月16日（火） 午後3時53分、第3委員会室
において開議、午後3時55分
散会

委員長 田荊子政太郎（自民）

- ① 委員長から、北方領土問題等の解決促進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、北方領土問題等の解決促進に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することにした。

公害対策特別委員会

○12月21日（日） 午前4時1分、第2委員会室
において開議、午前4時5分
散会

委員長 和田 勝之（自民）

- ① 委員長から、議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、さきに実施した道内及び道外調査の概要について口頭により報告、異議なく了承。
- ④ 委員長から、道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することにした。

予算特別委員会

○12月17日（水） 午後零時33分、第1委員会室
において開議、午後零時43分
散会
委員長 舟山 広治（社会）

正副委員長の互選

- ① 高橋正四郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、川口常人委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって舟山広治委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岡本栄太郎委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって佐々木利昭委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時38分休憩、午後零時39分再開、休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うこととはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

小田原要四蔵（社会）	佐々木行雄（自民）
久田 保（自民）	青山 正男（自民）
長岡 寅雄（社会）	工藤 啓二（公明）
川崎 守（共産）	岡本栄太郎（社会）
佐藤 静雄（自民）	湯田 倉治（道政）
平野 明彦（自民）	宇野 真平（自民）
小笠原 孝（自民）	中田 繁夫（社会）
東 典俊（自民）	

○第2分科委員（15人）

木本 由孝（自民）	橋 浪蔵（道政）
-----------	----------

吉川 貴盛（自民）	萩上 元春（社会）
柳谷 正一（公明）	石崎喜太郎（自民）
川口 常人（自民）	佐々木利昭（自民）
伊藤 豪（道政）	和田 勝之（自民）
工藤万砂美（自民）	武部 勤（自民）
保格 博夫（社会）	湯本 芳志（社会）
高橋正四郎（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うこととはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることとはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについてはかり、議員から発言申し出があった場合その都度委員会にはかり決定すること及び発言は委員の通告質疑終了後これを許可することについてはかり、異議なく決定。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うこととはかり、異議なく決定。

第1分科会

○12月17日（水） 午後零時45分、第1委員会室
において開議、午後零時55分
散会
第1分科委員長
岡本栄太郎（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に岡本栄太郎委員（社会）、分科副委員長に佐々木行雄委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について

協議決定した。

- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議によりこれを行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることを異議なく決定。理事には、久田保委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、湯田倉治委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、発言申し出があった場合その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることと決定。

○12月18日（木） 午前10時15分、第1委員会室
において開議、午後4時46分
散会
第1分科委員長

岡本栄太郎（社会）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

長岡 寅雄委員（社会）から、

- (1) 密漁取締りに関し、サケ・マスなどの密漁事犯の発生状況及び取締り状況、海上保安庁、道警、道水産部との連携、取締対象河川数と警察官の動員数、密漁取締り用装備及び予算措置状況等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

- (1) 石狩湾新港問題に関し、計画の遅延と今後の見通し、小樽港との機能一体化と湾岸道路建設に対する取り組み、取水計画の内容
- (2) 経済調査室に関し、総研との性格の相違、景気予測・経済見通しを所掌する考え
- (3) 地方交通線に関し、地方交通線確保に対する基本的考え方と関係機関への働きかけにあたっての姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部所管に対する質疑を終結。

③ 民生部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) もなみ学園の廃止に関し、自閉症児のための施設新設との関連、自閉症児施設設置調査委員会及び情緒障害児問題臨時部会の検討経過と内容、もなみ学園に入所児童の新施設での受け入れの考え
- (2) 特別生活資金貸付事業に関し、昨年の事業実績及び利用率が低い原因、今回の予算計上の考え方と給付制度とする必要性等について

小田原 要四蔵委員（社会）から、

未帰還者問題に関し、生存者の確認状況と引き揚げ者に対する援護業務、帰還手当の内容と国に対する増額要求の考え、道の見舞金について増額の検討方等について

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 函館市の国の子寮の運営に関し、ミンク飼育に係る指導と改善状況
- (2) 社会福祉法人函館緑花会における事故に関し、収容者間の傷害事故の責任、道の措置、作業用具の管理のあり方と今後の指導
- (3) ベビーホテル等に関し、ベビーホテル・ベビーハウスの実態把握状況、指導要綱を作成する考え、今後の対処策
- (4) 社会福祉法人大友恵愛会の運営に関し、名目的な理事の就任及び法人と取引関係にある者が理事となることの妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

○12月19日（金） 午前10時20分、第1委員会室
において開議、午後5時5分
散会
第1分科委員長

岡本栄太郎（社会）

○ 衛生部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) 水道水の安全性に関し、発ガン性物質トリハロメタンに係る米国の研究と塩素の規制状況、わが国における研究と取り組み状況、道内における水道水の実態把握状況、水道水の殺菌に係る塩素使用の抑制につい

での指導状況、航空機上で使用する水の
水質と今後の改善方策、ビルの貯水槽に係る
水質指導

- (2) 食品添加物に関し、輸入の粉末コーヒ
ークリームにおける認可外の食品添加物使用
の有無、道内での販売量、今後の検査実施
の考え方
 - (3) サーベランス体制に関し、他府県の取
組み状況と道の対象疾病拡大等体制強化に
対する見解
 - (4) 病院問題に関し、地域センター病院構想
と財政対策、医師確保対策、町立中標津病院
の道立移管に対する考え方、道立増毛病院
の廃止に伴う地域医療への影響等について
- 小田原 要四蔵委員（社会）から、

医療相談に関し、相談件数及び内容、処理
状況、相談窓口の拡充の考え、乳幼児のため
の相談窓口設置に対する見解等について

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 今金町の国保病院の運営に関し、結核患
者と一般患者の同室収容、超過収容、医療
従事者の超過労働等の実態把握、改善指導
と是正の状況、今後の十分な監視と指導の
徹底の必要性
- (2) 精神病院に関し、精神衛生法第4条の趣
旨、道内の指定病院数、道立の精神病院設
置の必要性
- (3) 道立北見病院の改築に関し、人工透析に
係る器械整備に対する考え方及び夜間透析
実施の必要性
- (4) 地域センター病院に関し、町立病院の道
移管を含めた計画の検討の考え、中標津病
院の取り扱いに対する見解
- (5) 難病対策等に関し、パーキンソン氏病に
ついて道費負担の対象拡大を検討する考
え、難病センターの建設について調査委員
会等を設置する必要性、小児保健センター
の増床に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があっ
て、衛生部所管に対する質疑を終結。

○12月20日（土） 午前10時34分、第1委員会
において開議、午後零時55分閉
会

第1分科委員長

岡本栄太郎（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

交通安全対策に関し、交通安全推進委員
会における家庭の交通安全読本発行につい
ての検討状況、冊子発行のための寄付依
頼を行っていることの妥当性、道と推
進委員会の業務の分担、交通安全読本
を道が発行することについての見解等
について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があ
って、生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

道職員の交通事故に関し、公用車の10万キ
ロ走行当たりの事故発生件数と民間会社との
比較、運転技術員以外の者による公用車運
転の実態、道の公用車保有状況と運転技
術員数、マイカーの公務使用の妥当性、
職員に対する交通安全指導の内容と適性
検査実施の必要性、車両の検査の徹
底等について

川崎 守委員（共産）から、

宗教法人毘沙門堂に関し、宗教法人とし
ての実体の有無と認証にあたっての考
え方、同法人の墓園建設計画に係る
行政指導、墓地の予約販売と工事遅
延に係わる行政指導の必要性等につ
いて

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があ
って、総務部所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経 過報告について、分科委員長に一任されたい 旨をはかり、異議なく決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終 了のあいさつがあった。

第2分科会

○12月17日（水） 午後零時46分、第2委員会室
において開議、午後零時55分
散会

第2分科委員長

川口 常人（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に川口常人委員（自民）、分科副委員長に萩上元春委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことについてはかり、異議なく決定。理事には、木本由孝委員（自民）、保格博夫委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言について、発言申し出があった場合その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月18日（木） 午前10時16分、第2委員会室において開議、午後5時43分散会
第2分科委員長

川口 常人（自民）

- ① 土木部所管に対する質疑に入り、
榎林 巖委員（社会）から、
 - (1) 公共事業の発注に関し、工事発注の手続、下請させる場合の取扱い、実質的な一括下請を排除する必要性
 - (2) 災害復旧に関し、8月の集中豪雨による急傾斜地の災害復旧の具体的な内容、室蘭中央東線の抜本的な改良工事の必要性
 - (3) 白鳥大橋の建設に関し、開発関係国費予算要求に対する決意と強力な要請方等について
 質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

- ② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、
高木 繁光委員（自民）から、
札幌市の羊ヶ丘通りの建設に関し、都市計画決定の手続と計画決定の経過、札幌市に対する行政指導と計画ルートに基づく早期着工についての努力方等について
米村 邦敏委員（社会）から、
 - (1) 持ち家建設に関し、持ち家の建設状況、最近の建設戸数減少の原因、住宅建設につ

いての紛争事例と紛争処理体制の充実、道の融資制度の拡充に対する見解、カラマツ材の使用について指導の考え

- (2) 道営住宅に関し、年次別建設状況と利用状況、道営住宅の家賃変更についての審議会への諮問にあたっての基本的な考え方、答申の内容、値上げを抑制する必要性等について

柳谷 正一委員（公明）から、

住宅建設に関し、第3期住宅建設5カ年計画の実績、公営住宅建設の計画未達成の原因、居住水準以下の公営住宅戸数と改善方策、公団住宅の建設実績・空き家の状況と原因、住宅金融公庫資金の延滞状況、住宅ローンの返済計画に係る行政指導の必要性等について
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ③ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員（社会）から、

畑作、酪農問題に関し、普通畑の総耕地面積に占める割合と普通畑減少の原因、道内における畑地の土壌の状態と畑地の土地改良事業の進行状況、畑作酪農地帯の基盤整備に対する考え方、牧草地の生産性回復の方策、天北北部の酪農開発に対する見解、減反に伴う用排水施設の維持管理と土地良区の負担軽減策、冷害に伴う土地改良に係る制度資金等の償還猶予の状況、農業基盤整備事業に係る監督員詰所設置のあり方等について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

- ④ 労働部所管に対する質疑に入り、
分科委員長から、伊藤豪委員（道政）から労働部所管に対する質疑通告の取り下げがあった旨報告、ついで、

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) 身障者の雇用に関し、道内における民間・公共団体の雇用実態、雇用率の低い企業、市町村に対する指導の徹底、身障者の実態把握と作業分野・適職の開発
- (2) 振動病対策に関し、振動病認定患者数と死亡者数、患者の心理的な状況についての研究発表に対する受けとめ方、厚生・労働・林野の省庁通達に対する道の対応、検査

・治療機関の整備及びチェンソーの買いかえに係る助成の必要性、白ろう病患者の治療後の再就職の場の確保等について

湯本 芳志委員（社会）から、

労働災害に関し、労働災害の発生状況、労働災害防止に対する道の責務と施策の内容、公共事業における労働災害防止対策等について質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

○12月19日（金） 午前10時16分、第2委員会室
において開議、午後5時39分
散会
第2分科委員長
川口 常人（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）からの本分科会への出席及び発言の申し出について通告の委員の質疑終了後これを許可することについてはかり、異議なく決定。

吉野 之雄委員（社会）から、

- (1) 米の需給に関し、冷害に伴う古米の使用と品質維持に対する見解、消費拡大、流通改善の方途
- (2) 減反問題に関し、転作目標面積の受けとめ方と道の対応についての反省点、転作に伴う土地基盤整備、市町村への転作配分に当たりの考え方
- (3) 酪農検査所の廃止に関し、道営検査を実施してきた経過、道が今後も継続することについての支障の有無、乳質の改善に対する見解、酪農の廃止について生産者等の意見聴取の有無、民間の検査機関設置と検査の公正確保に対する危惧、酪農職員の今後の処遇に対する考え方
- (4) 原発建設に伴う農業への影響に関し、道の調査の内容、調査地の選定理由、調査項目の妥当性等について

神本 三也委員（社会）から、

- (1) 農業費の減額補正に関し、農業構造改善対策費等の減額補正の理由、予算積算上の問題点と56年度予算編成にあたっての改善の考え方
- (2) 酪農問題に関し、酪農家の雄子牛導入に

対する見解と複合経営に対する農家指導体制、第3期酪農近代化計画への影響、天北北部の開発の進め方、江丹別地区の経営悪化と今後の対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。分科委員長から本間喜代人第1分科委員（共産）から、質疑通告の取り下げがあった旨の報告があって、農務部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員（社会）から、

造林事業等に関し、造林事業に係る補助金が前年度より下回った理由、事業量の増加傾向と事業終了後補助金の査定方法を変更することの妥当性、カラマツの間伐事業の促進に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

③ 水産部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、中川隆之委員（道政）から質疑通告の取下げがあった旨報告の後、

長岡 寅雄委員（社会）から、

- (1) 秋サケ親魚の確保に関し、秋サケの来遊状況と河川での親魚捕獲及び採卵の計画と実績、親魚の捕獲量の少ない河川に対する対策、ふ化施設の整備、今後の親魚確保についての取組み姿勢
- (2) 沿岸漁業の振興に関し、日本海及びエリモ以西地域の沿岸漁業の振興と漁場整備、資源増大対策の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。

④ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

対外貿易に関し、現状と基本的な考え方、ロサンゼルス事務所及び駐在員の役割りと今後の機能強化に対する考え方、沿岸貿易の振興についての考え方、中国貿易に対する積極的な施策の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○12月20日（土） 午前10時59分、第2委員会室
において開議、午後2時45分
閉会

第2分科委員長

川口 常人(自民)

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 教職員の研修に関し、教職員の研修の位置づけ、組合主催の研究会に対する見解、教員の組合主催の研究会出席に係る札幌高裁判決の受けとめ方と今後の行政指導を変更する考え
- (2) 高校適正配置計画と生徒募集に関し、条件つき募集制度を導入した理由と適正配置計画の基本的な考え方、高校入試出願変更の事務取扱いの改正内容
- (3) 苫小牧市教育委員会の運営に関し、委員の辞表提出に係る経過と道教委の指導、助言の基本的考え方等について

小田原 要四蔵(社会)から、

- (1) 公立高校の条件整備に関し、高等学校設置基準に適合しない学校の存在と法令違反でないとする根拠、設置基準以下の道内高校の実態と年次計画による条件整備の必要性、高等学校の設置等に係る標準法の解釈と市町村立高校設置に対する認可の考え方、学校設備の実態と消防法・労働安全衛生法による設備基準との関係及び今後の整備の考え方
- (2) 真駒内養護学校に関し、水洗便所の設置についての札幌市からの要請に対する措置と整備の見直し等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○12月21日(日) 午前2時30分、第1委員会室において開議、午前2時45分閉会

委員長 舟山 広治(社会)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 付託案件に対する意見調整のため、午前2

時35分休憩、午前2時36分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第9号及び第19号について意見の一致をみるに至らなかった旨及び議案第1号について岡本栄太郎委員(社会)ほか7人から修正動議が提出されている旨報告の後、議案第1号及び議案第1号についての修正案を議題とし、岡本栄太郎委員(社会)から、社会及び共産両党共同提出に係る修正案について趣旨説明があって、質疑並びに討論の通告なしと認め、直ちに採決に入り、まず修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政、公明反対)にてこれを否決と決定。次に、修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決と決定。次に、修正案に係る部分を除く原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、岡本栄太郎委員(社会)から、議案第1号に関し、修正案を少数意見として留保する旨を発言。

次に、議案第9号を議題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第19号を議題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号ないし第8号及び第33号ないし第43号を一括議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。

ついで、工藤啓二委員(公明)から、本委員会の審議の経過にかんがみ、議案第1号について、5項目の付帯意見(委員長報告参照)を委員長報告文に挿入されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、直ちに議題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数(社会、共産反対)をもって本動議のとおり付帯意見を付することに決定。付託案件に対する審議経過及び結果の報告については委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

会 合

都道府県議会議員共済会

○12月3日（水） 全議会議室において**理事会**を開催。会長（東京都議長）のあいさつの後、協議に入り、代議員会の運営方法、都道府県議会議員共済会定款の一部変更・掛金の引き上げ等について、全議事務局長から説明があり、それぞれ了承し、閉会した。

○12月3日（水） 全議会議室において**代議員会**を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、議事に入り、都道府県議会議員共済会定款の一部変更について原案のとおり可決し、閉会した。

資 料

第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	12. 21	12. 24	北海道条例第73号
北海道恩給並びに他の都府県の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第74号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第75号
公団営農用地開発事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第76号
北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第77号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第78号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第79号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第80号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部改正する条例	同	同	北海道条例第81号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第82号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第83号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第84号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第85号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第86号

12月のメモ

- 1日 ○外務省派遣の堀大使、道庁へ初登庁。
- 3日 ○日中両国の初の閣僚会議、北京で開幕。
55年分560億の円借款の交換公文に署名、「アジアと世界の平和と安定の維持・確保に引き続き努力する」共同新聞発表を採択して閉幕（5日）。
- 道警捜査二課と岩見沢署、岩見沢市の社会福祉法人、医療法人の経理問題で両法人の施設などを家宅搜索（3—4日）。
- 9日 ○農林水産省、56年からの第2期水田利用再編対策の転作等面積及び予約限度数量配分を決定。本道の転作面積は124,960ヘクタール（転作率49.9%）、初年度は本年の冷害を考慮し、117,470ヘクタール（転作率46.9%）。
- 第4回定例道議会開会**
- 10日 ○秋草電電公社総裁、不正経理問題に絡み辞表提出。鈴木首相、後任に真藤氏（石川島播磨重工業相談役）の起用を決定（23日）。
- 12日 ○最高裁、「免田事件」の死刑囚、角田栄元被告の再審請求裁判で検察側の特別抗告を棄却。
- 13日 ○動力炉・核燃料開発事業団、上川管内下川鉱山での試験について正式表明。
○政府、消費者米価・麦価引き上げを正式決定。上げ幅は米価3.15%、麦価5.6%で来年4月1日から実施。
- 16日 ○鈴木首相、入院中の石破自治相の辞表を受理。後任に安孫子参議院議員の起用決定。
- 17日 ○石油輸出国機構（OPEC）定例総会閉幕、①サウジアラビア原油の2ドル値上げ②OPEC上限価格を41ドルに引き上げる③湾岸諸国を対象に「みなし基準原油価格」を新設し、上限を36ドルとする3本立て価格採用を決定。
- 18日 ○コスイギン・ソ連前首相死去（76歳）。
○総理府、10月1日に実施した昭和55年国勢調査による人口概要を発表。全国総人口1億1,705万7,485人、本道総人口557万6,110人。
- 20日 ○政府、臨時閣議で56年度予算編成方針を決定、56年度経済見通しを了承。実質経済成長率5.3%、消費者物価上昇率5.5%を見込む。
- 21日 ○第4回定例道議会閉会。
- 22日 ○第94回通常国会召集。
- 26日 ○愛知県警、名古屋市的女子大生の誘拐い事件で公開捜査に踏み切る。
- 29日 ○政府、臨時閣議で56年度政府予算案を決定。一般会計46兆7,881億円（本年度当初比9.9%増）、財政投融资計画19兆4,897億円（同7.2%増）、道開発予算7,146億円（同0.4%増）。